

## 国際原子力エネルギー協力フレームワーク（IFNEC） 需給国関係グループ会合（NSCCEG）の結果概要について

平成 30 年 7 月 17 日  
内 閣 府  
原子力政策担当室

平成 30 年 7 月 5 日、IFNEC 需給国関係グループ（NSCCEG）会合が、オーストリアのウィーンにおいて開催されたところ、以下のとおり、結果概要について報告する。

### 1. 会合日時・場所

- (1) 日時：平成 30 年 7 月 5 日 09:45-16:30
- (2) 場所：在ウィーン・アルゼンチン国際機関代表部（会議室）

### 2. 会合参加状況・主要参加者

#### (1) 参加状況

今回会合参加国は、正式メンバー国 8 カ国、オブザーバー国 0 カ国、国際機関 0 機関。  
会合参加者は、約 25 名。

#### (2) 主要参加者

アルゼンチン：NSCCEG 共同議長 ラファエル・グロッシ（アルゼンチン代表部大使）  
日本：NSCCEG 共同議長 進藤秀夫（内閣府原子力政策担当室次長）  
米国：IDWG（基盤整備部会）共同議長アレックス・バカート（米国国務省）  
中国：中国側代表ロン・ジアン（国家能源局主任）

### 3. 会合結果

#### (1) 全般状況

- ・今期 NSCCEG 会合は、特定のワークショップ等を行われず、昨年 11 月に開催された NSCCEG のコンファランス以降の活動成果の報告と評価、今後の NSCCEG 活動に関する議論をテーマとした会合となった。
- ・前回 5 月 30 日に開催された運営グループ（SG）会合に引き続き、中国関係者の出席者数の多さ（総参加者 25 人中 10 人）が目を引き、IFNEC の活動、特に NSCCEG の活動に対する関心・参加意欲が顕著に見られた。中国からは、翌年 5-6 月に NSCCEG 会合の開催を招致するとともに、関連のワークショップを開催したい旨の発言があった。

#### (2) 午前中の部

昨年 11 月の NSCCEG の「サプライ・チェーンとローカリゼーションに係るコンファランス」や今年 3 月のトルコにおける世界原発会議における活動紹介など、過去の NSCCEG の活動実績について振り返り、評価を行った。

関連して、本会合前々日（7 月 3 日）に、共同議長グロッシ大使が、NSCCEG 活動の紹介のために参加した INPRO（革新的原子炉および燃料サイクル国際プロジェクト）の Dialogue

Forumについては、急遽欠席した IAEA/INPRO 課の Phillips 氏に代わり米国オークリッジ国立研究所の Beatty 氏から、以下のような紹介があった。

INPRO は、供給者・導入国から様々な技術等の情報を交換する場である。供給国と導入国の双方から多くの意見があり、これに関して IAEA における知見の共有が推奨された。

- ①推奨のひとつは、IAEA から導入国に対してサプライチェーンの充実に向けた情報を提供すること（教育やベンダー検査、安全文化の構築など）、Localizationに伴うリスクとベネフィットを把握し、リスクを低減することである。
- ②今後、更にサプライチェーンを巡る戦略について、IAEA が各国間で意見交換する場を設け、この議論を続けていくことも奨励された。
- ③部品調達や品質保証に関する基準については、IAEA は、ガイドラインを示すことができるだけであるが、航空業界における共通基準化の手法が紹介され、異なるベンダーが協力して部品調達を一定基準内に維持している様子は、参考となった。

過去の NSCCEG の成果について、参加者からは「概ね満足」との評価が得られた一方、「更に積極的にアウトリーチ活動を行うべき」との方向性で合意した。具体的には、IFNEC 参加国・オブザーバー国（65 か国）の窓口で共同議長名でレター及び資料（小冊子）を送付し、各国が自国内のアウトリーチに活用することや、IAEA 総会のサイドイベント（9.17 の週に実施予定）や国際機関（INPRO、OECD/NEA 等）が企画する類似イベントの機会を活用することなどである。

### (3) 午後の部

今後の NSCCEG の活動の方向性について、議論がなされた。

- ①共同議長・事務局からは、これまでの主要テーマ「サプライチェーン」には一区切りつけ、TOR に記載のある「安全・安全文化」に係わる需給国関係に注目してはどうかとの提案があり、具体的には、2018 年 11 月開催の東京会合で、まずワークショップを行うという原案が提示、説明された。

IDWG バカート議長から、11 月 12 日（月）に、NSCCEG と IDWG が連携して 1 日のワークショップを開催しようとの提案が出され、その方向で合意された。

- ②本件関連の主なコメント・決定事項は以下の通り。
  - ・11 月 12 日までは、準備の時間が限られており、いきなり大がかりなワークショップを企画することにこだわらず、まずは東京会合では、第一歩として、論点確認のための小規模ワークショップを開催し、翌年に本格的な会議を実施することを念頭に置くべき。
  - ・トピックとしては、安全確保を担保する規制当局の協力を主に念頭に置くが、規制当局にとどまらず、建設・運用者間の（安全確保のための）協力なども検討対象として排除しない。

(4) 前項(3)「今後の NSCCEG の活動の方向性について」に関連して、中国側代表から、以下

の提案があった。

- ①本年 5 月 30 日の運営グループ会合（SG）会合でも発言したが、翌年の NSCCEG 会合を中国に招致するとともに、関連したワークショップを開催したい。
- ②時期は、2019 年の 5 月か 6 月頃で、次回 NSCCEG 会合の前後に、引き続いて開催したい。
- ③内容としては、需給国間の協力一般、および教育協力について、需給国間の意見交換の場としたい。
- ④本年 11 月の東京会合においても、これらの考え方について、中国側から内容紹介のプレゼンを行いたい。

同提案に対し、グロッシ共同議長から、中国の積極的参加を多とするが、具体的な時期は、会合が立て込んでいる時期なので、事務局とも相談の上、タイミングを図るとともに、また内容面でも一定の調整をする必要がある等の指摘があったが、基本的には前向きに検討することとなった。

#### 4. 今後の処置事項

会合全般について、2 週間程度をめどとして、事務局が議事概要案をまとめ、参加各国にコメントを求める予定である。

#### 5. 参考事項

##### (1) 参加国等

###### ①参加国（8 カ国）

アルゼンチン、中国、日本、ポーランド、ロシア、ウクライナ、英国、米国

###### ②オブザーバー国（0 カ国）

###### ③オブザーバー国際機関（0 機関）

当初参加を予定していた INPRO のプレゼンターは欠席となった。

##### (2) 添付資料

(添付資料 1) NSCCEG Agenda

(添付資料 2) NSCCEG 出席者



## **INTERNATIONAL FRAMEWORK FOR NUCLEAR ENERGY COOPERATION Nuclear Supplier and Customer Countries Engagement Group**

**5 July 2018,**

*Embassy and Permanent Mission of the Argentine Republic to the International  
Organizations in Vienna, Lugeck 1/7 1010 Vienna, Austria*

9:30 – 9:45	Registration – welcome coffee
9.45 – 10:00	Welcome by the NSCCEG co-chairs and self-introduction of participants 10:00 – 11:00
(-30)	Lessons learnt from the November 2017 conference “Global Supply Chain and Localization, Issues and Opportunities” (presentations and summary report)
11:00 – 11:30	NSCCEG-sponsored workshop at the V. International Summit for Nuclear Power Plants, Istanbul, 5-7 March 2018 (presentations– presentation of outcomes)
11:30 – 12:00 (+30)	Outcomes of the IAEA INPRO Dialogue Forum on Sustainable Supply Chains for Advanced Nuclear Power Systems, 2-4 July 2018 – J. Phillips, IAEA/INPRO
12:00 – 13:30	Lunch break
13:30 – 16:00	Further NSCCEG activities in 2018 in relation to the Terms of Reference and scope of NSCCEG – and November 2018 meeting in Japan
16:00 – 16:30	Wrap up and conclusions from the co-chairs



## IFNEC – NSCCEG meeting

05 July, 2018

Vienna, Austria

### LIST OF PARTICIPANTS

IFNEC Member	Name Title	Organisation
<b>Argentina</b>	Rafael M. Grossi Ambassador and Permanent Representative	Embassy and Permanent Mission of the Argentine Republic to International Organizations in Vienna
<b>Argentina</b>	Luz Melon Minister	Nuclear & Non Proliferation Section Permanent Mission of Argentina in Vienna
<b>China</b>	Li Bo Project Officer	General Office China Nuclear Power Development Centre
<b>China</b>	Song Gongbao First Secretary	The Permanent Mission of China to the IAEA
<b>China</b>	Hao Hongsheng Assistant President	State Nuclear Power Technology Corporation
<b>China</b>	Rong Jian Deputy Director-General	China Nuclear Energy Development Centre China National Energy Administration
<b>China</b>	Li Jun Deputy Chief Engineer	Hualong Pressurized Water Reactor Technology Corporation, Ltd.
<b>China</b>	Wang Kai Division Chief	International Cooperation Department China General Nuclear Power Corporation
<b>China</b>	Huang Lei	International Cooperation Department China National Nuclear Corporation
<b>China</b>	Li Xiaomeng Program Officer	Nuclear Power Department China National Energy Administration
<b>China</b>	Shi Yubo Senior Manager	State Nuclear Power Technology Corporation
<b>China</b>	Zhang Yu Deputy Director	China Nuclear Energy Development Centre China National Energy Administration
<b>Japan</b>	Yasushi Aruse	Cabinet Office
<b>Japan</b>	Tomoko Murakami Manager	Nuclear Energy Group, Strategy Research Unit The Institute of Energy Economics



IFNEC Member	Name Title	Organisation
<b>Japan</b>	Hideo Shindo Deputy Director General	Science, Technology and Innovation Cabinet Office
<b>Poland</b>	Andrzej Sidło Director	Nuclear Energy Department Ministry of Energy
<b>Russian Federation</b>	Alexander Bychkov Representative for International Organizations	Department of International Cooperation State Atomic Energy Corporation "Rosatom"
<b>Russian Federation</b>	Nadya Kurova-Chernavina Chief Specialist	Department of International Cooperation State Atomic Energy Corporation "Rosatom"
<b>Ukraine</b>	Mykola Kukharchuk Director	International Cooperation NNEGC 'Energoatom'
<b>United Kingdom</b>	Hilary Hodge Political Attachée	UK Mission to the UN and International Organisations in Vienna
<b>United States</b>	Alex Burkart Senior Level Advisor for Nuclear Energy	Bureau of International Security and Nonproliferation Department of State
<b>United States</b>	Randy Beatty Distinguished Research and Development Staff	Material Security and Export Control Oak Ridge National Laboratory
<b>United States</b>	Jac Goodman Nuclear Energy Attaché	IAEA Section U.S. Mission to the International Organizations in Vienna
<b>IAEA</b>	Jon Phillips Head	INPRO Section - Division of Nuclear Power Department of Nuclear Energy
<b>Technical Secretariat</b>	Henri Paillere Coordinator IFNEC Technical Secretariat	Nuclear Energy Agency
<b>Technical Secretariat</b>	Malisol Ohirko Policy Adviser	Nuclear Energy Agency
<b>Technical Secretariat</b>	Robert Mussler Consultant	